

[1]

電マニ58を
インストールして開きます。



[2]

この画面が出れば
動作確認完了です。
電マニ58を閉じて下さい。



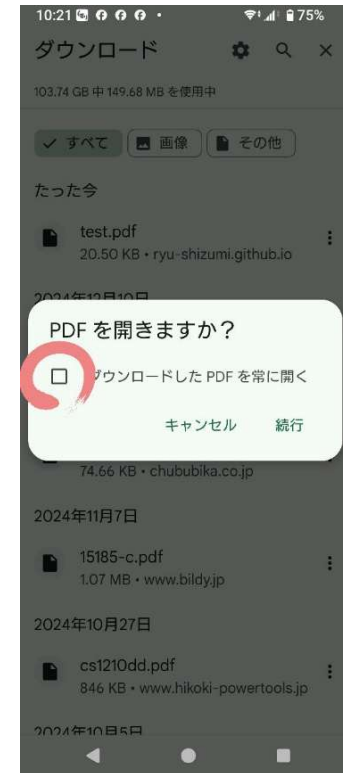
[3]

テスト用の
PDFファイルを開きます。



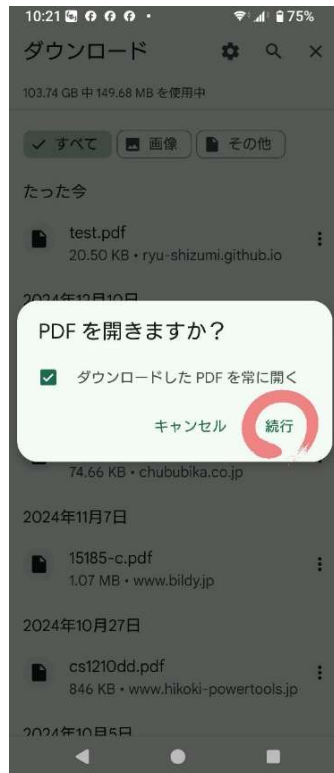
[4]

この画面が出たら、
チェックマークを付ける。



[5]

「続行」をタップ



[6]

電マニ58ではないアプリが
自動でPDFが開いたら、
[7]から[12]の手順を行います。



[7]

「設定」の「アプリ」をタップ



[8]

PDFを自動で開くアプリを
見つけてタップ

[9]

「デフォルトで開く」をタップ



[10]

「デフォルトの設定をクリア」をタップ



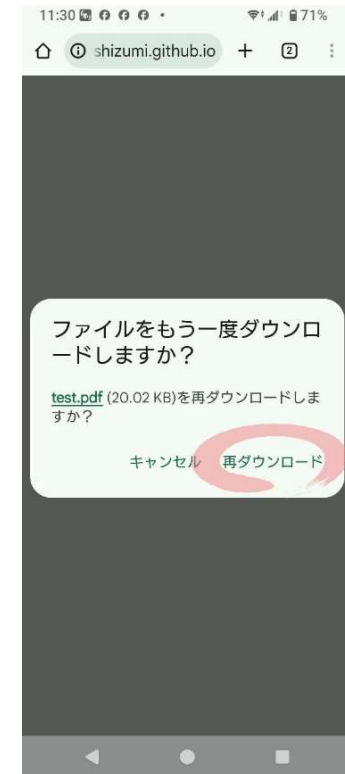
[11]

もう一度テスト用のPDFファイルを開きます。



[12]

「再ダウンロード」をタップ



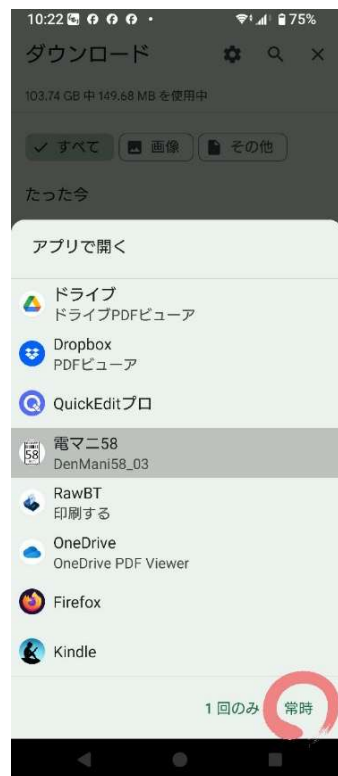
[13]

「電マニ58」をタップ



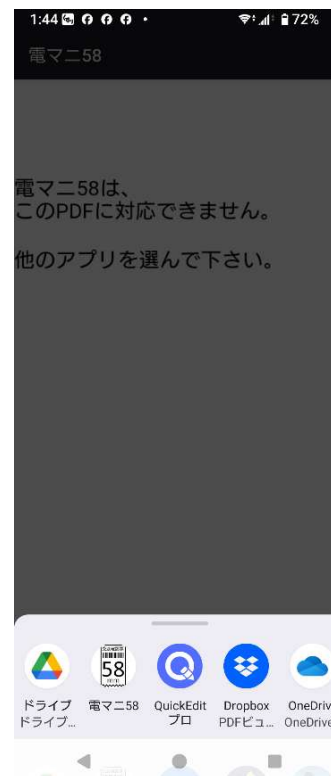
[14]

「常時」をタップ



[15]

この画面が出たら成功です。
電マニ58を閉じます。



[16]

電マニ58をPDFを開くアプリ
として設定しました。
対応できないPDFは
別のアプリを選択できます。

電マニ58のセットアップ作業
は以上です。

[1]

印刷機能を利用する場合は
プリンターの購入が必要です。

JK-5803Pを購入して下さい。



[2]

届いたら開梱します。
中身は以下の通りです。

- 説明書
- プリンター本体
- ロール紙(プリンターに内蔵)
- リチウムイオン電池
- USB Type-C ケーブル



[3]

複数台運用を見据えて
プリンターに命名します。
今回は「1号プリンター」
としました。



[4]

裏蓋を開けて
電池をセットします。



[5]

真ん中のボタンを長押しして
電源をオンにします。

もし電源オンにならないければ
電池の向きが逆です。



[6]

電源ボタンを長押しして
電源をオフにします。



[7]

カバーを開いて
Selftestの紙を取り除きます。



[8]

ロール紙をセットして
カバーを閉じます。

電源をオンにします。



[9]

セットできていないと
Feedボタンが赤く光ります。



[10]

ロール紙がセットできたら
電源をオフにします。



[11]

充電は、
付属のUSBケーブルでなくても
構いません。

満充電になると消灯します。



[12]

補充のロール紙は、
58mm幅、40mm径が
適合します。

探すのが面倒であれば
ST584012-6K を
買いましょう。

プリンターの準備は以上です。



[1]

印刷機能を利用する場合は
RawBT（無料）が必要です。

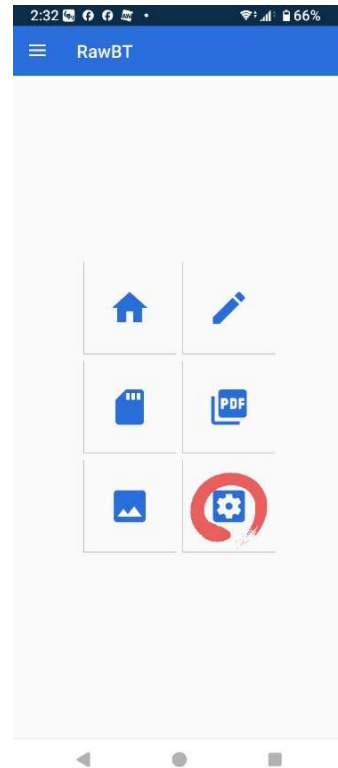
RawBTを

インストールして開きます。



[2]

歯車アイコンをタップ



[3]

「プリンターを追加」をタップ



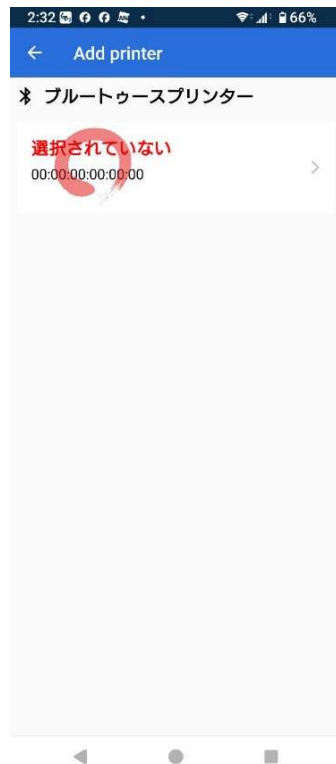
[4]

「ブルートゥース」をタップ



[5]

「選択されていない」をタップ



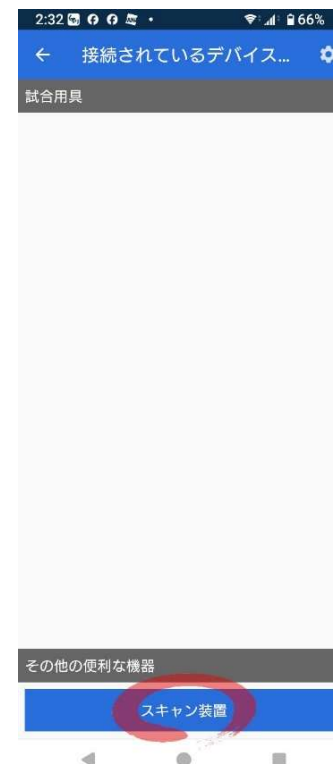
[6]

プリンターの電源をオン



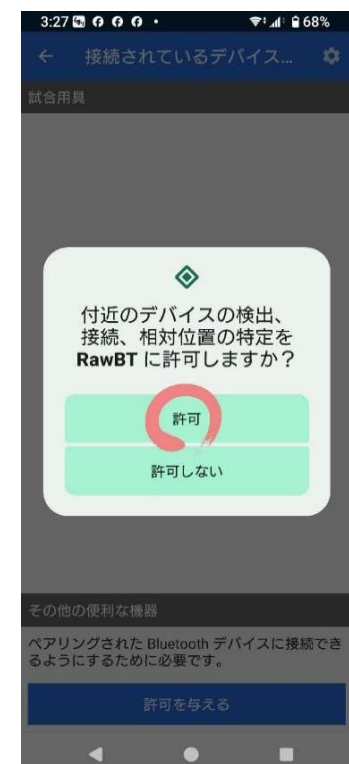
[7]

「スキャン装置」をタップ



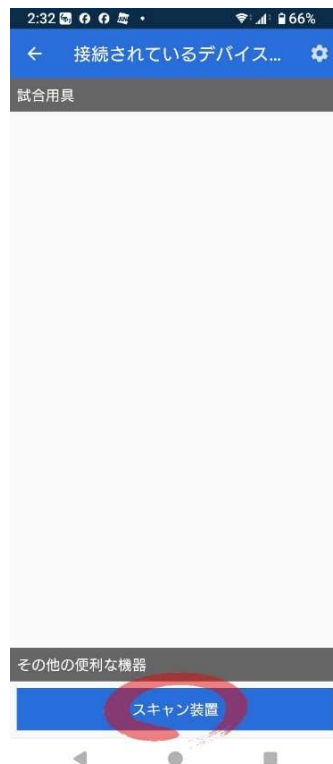
[8]

「許可」をタップ



[9]

「スキャン装置」をタップ



[10]

「JK-5803P」を探してタップ



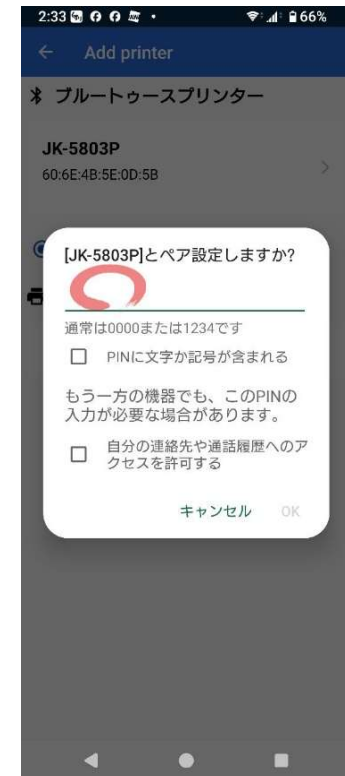
[11]

「接続」をタップ



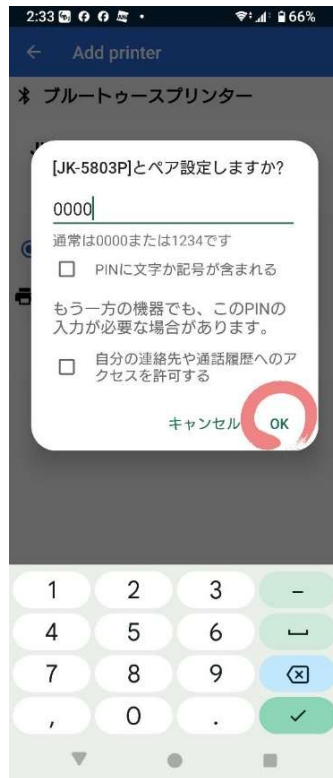
[12]

「0000」と入力する



[13]

「OK」をタップ



[14]

名前を「1号プリンター」に書き換える。



[15]

「プリンタを追加」をタップ



[16]

「←」をタップ



[17]

プリンターが追加されました。
RawBTを閉じます。



[18]

電マニ58を開きます。



[19]

サンプルデータの印刷は
無料です。

「印刷」をタップ



[20]

「80mm Roll」をタップ



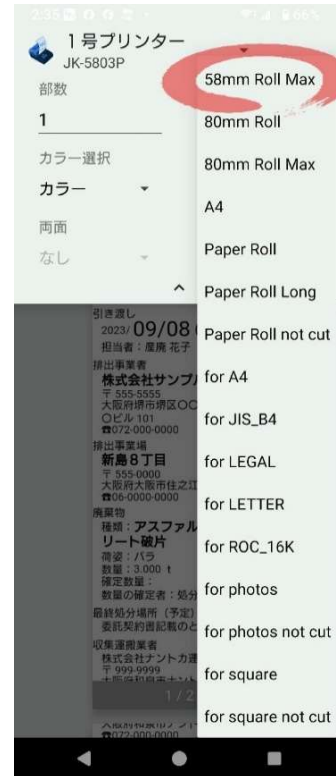
[21]

「80mm Roll」 をタップ



[22]

「58mm Roll Max」 をタップ



[23]

「^」 をタップ



[24]

印刷アイコンをタップ



[25]

「OK」をタップ



[26]

電マニ58は、最大30件まで
マニフェスト番号ごとの
印刷日時を記憶します。



[27]

印刷された用紙は、
丸まって排出されます。



[28]

巻き癖を直すようになります。

自動カット機能はありません。
手でちぎって下さい。



[29]

これでRawBTのセットアップと
テスト印刷は完了です。

電マニ58を閉じます。

[30]

RawBTは無料ですが、印刷物に
課金を促す表示が付きます。
永久ライセンス料を支払えば
表示が消えます。

永久ライセンス料は
2024年12月26日から 0 円です。

Google Playが
ロシア製アプリの販売を
禁止している為です。

[1]

JWNETのスマホ用ページを開きます。



[2]

ログインする前に、
ホーム画面にショートカットを
作っておきます。
右上の「:」をタップ



[3]

「ホーム画面に追加」をタップ



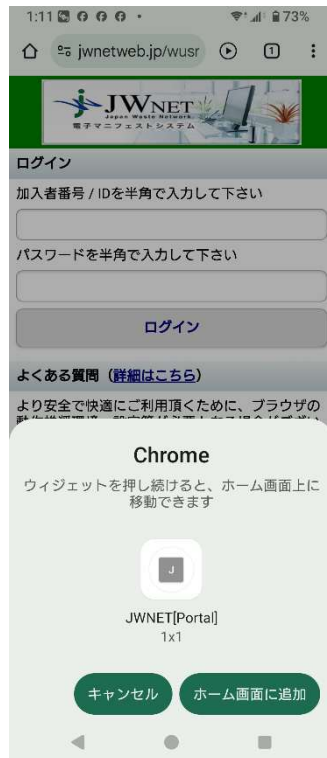
[4]

「追加」をタップ



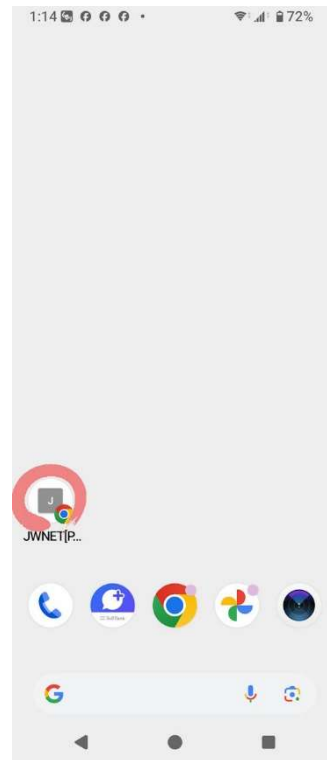
[5]

ウィジェットをホーム画面に配置して下さい。



[6]

ホーム画面にショートカットが追加されました。



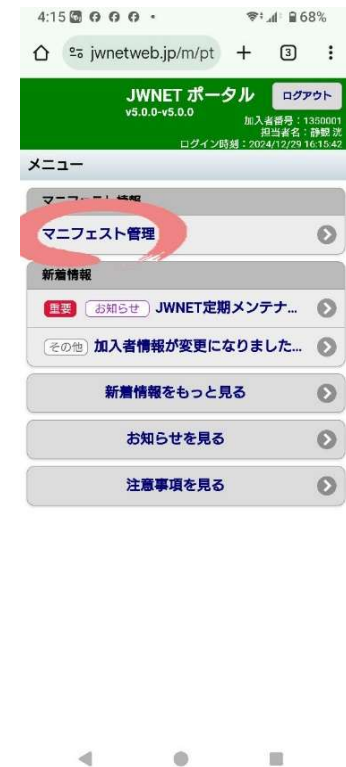
[7]

JWNETのページに戻ってログインします。



[8]

「manifest管理」をタップ



[9]

「マニフェスト新規登録」
をタップ



[10]

「追加」をタップ



[11]

必要項目を入力しましょう。



[12]

下までスクロールして、
「入力完了」をタップ



[13]

「登録」をタップ



[14]

「戻る」をタップ



[15]

「戻る」をタップ



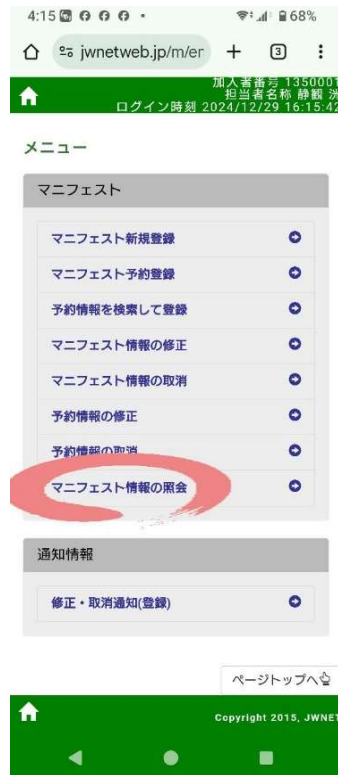
[16]

「OK」をタップ



[17]

「マニフェスト情報の照会」
をタップ



[18]

下までスクロールして、
「検索」をタップ



[19]

マニフェスト番号をタップ



[20]

「受渡確認票」をタップ



[21]

もしこの画面が出たら、
「再ダウンロード」をタップ



[22]

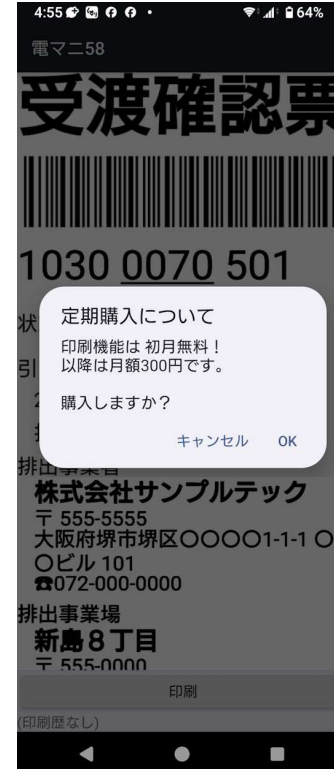
電マニ58が自動で開きます。

印刷したい時は、
「印刷」をタップ



[23]

実運用での印刷は
定期購入が必要です。



[24]

定期購入が完了すると
「定期購入しました」と
表示されます。



[25]

プリンターの電源をオン



[26]

印刷アイコンをタップ



[27]

印刷されます。
実運用の説明は以上です。

